

平成 31 (2019) 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


保 育 の 心 理 学

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、子どもの発達の規定要因に関する記述である。(A)～(D)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの発達に影響を与える規定要因には、主にいくつかの説がある。その中でも、(A)は、「人の発達は遺伝的に決定されていて、成熟に伴って自然に発現してくる」という成熟説を唱えた。一方、(B)は、「生まれた後の環境、経験、学習によって発達が形成される」とする環境説を唱えた。また、(C)は、「遺伝的要因と環境的要因は独立しながらそれぞれ発達に影響を与える」という輻輳説を唱え、(D)は、「遺伝的要因と環境的要因は相互に関係し影響を及ぼし合う」という相互作用説を唱えた。

【語群】

ア	ゲゼル(Gesell, A.L.)	イ	ヴィゴツキー(Vygotsky, L.S.)
ウ	バルテス(Baltes, P.B.)	エ	ワトソン(Watson, J.B.)
オ	ジェンセン(Jensen, A.R.)	カ	シュテルン(Stern, W.)

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | カ |
| 2 | ア | エ | オ | カ |
| 3 | ア | エ | カ | オ |
| 4 | イ | ウ | オ | カ |
| 5 | イ | エ | カ | オ |

問2 次の文は、発達の生態学モデル（エコロジカルモデル）に関する記述である。（a）～（d）の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

人間の発達は、さまざまな環境に支えられており、互いに相互作用している。Bronfenbrenner (Bronfenbrenner, U.) が想定した環境水準とは、次の4つである。まず、子どもを取り巻く家庭や学校などの直接的な対人的、物理的環境を (a) マイクロシステム と呼ぶ。次に、家庭と学校など、子どもが活動するシステム間の関係を (b) エクソシステム と呼び、このシステムが発達に影響を与える環境となる。そして、親の職場や地域の教育委員会の活動など、間接的に子どもの発達に影響を与える環境を (c) メゾシステム と呼ぶ。さらに、子どもが暮らす国や地域の文化、信念体系などを (d) マクロシステム と呼ぶ。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問3 次の文は、「乳幼児精神発達質問紙」(津守・稲毛, 1961) 中の1～12か月児の「探索・操作」に関する記述である。A～Cを発達の順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A みた物(ガラガラ、顔など)を目で追う
- B 自分の手をじっと見ている
- C 物を落として、落ちた場所をのぞく

(組み合わせ)

- 1 A→B→C
- 2 A→C→B
- 3 B→A→C
- 4 B→C→A
- 5 C→B→A

問4 次の文は、認知発達に関する記述である。【I群】の記述と【II群】の関連する用語を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

- A フォークでイチゴを刺したときに「イチゴさんが痛いって泣いているよ」と言う。
- B 同じ量の液体を大きさの異なる容器に注いでも、同じ液体の量であると判断する。
- C 興味を示しているおもちゃを布で隠すと、布を取り払っておもちゃを取ろうとする。
- D 箱をバスに見立てて遊んだり、新聞紙を刀の代わりに丸めて遊んだりする。

【II群】

- ア 物の永続性
- イ 象徴機能
- ウ 保存の概念
- エ アニミズム

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ア | ウ | エ |
| 3 | イ | ウ | ア | エ |
| 4 | エ | ア | ウ | イ |
| 5 | エ | ウ | ア | イ |

問5 次の文は、アタッチメント（愛着）の質を測定するストレンジ・シチュエーション法に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ストレンジ・シチュエーション法は、生後1か月から実施することができる。
- B ストレンジ・シチュエーション法では、養育者と子どもの2人で過ごす時間に子どもが自由に探索するかどうかにも注目する。
- C ストレンジ・シチュエーション法のAタイプとは安定型を指し、養育者が子どもに対して応答的で、相互交渉を楽しんでいる様子が見られる。
- D ストレンジ・シチュエーション法のDタイプは無秩序・無方向型を指し、反応性愛着障害や虐待との関連が示唆されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	×	×	×
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問6 次の【Ⅰ群】の用語と【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合、記述がない用語を【Ⅰ群】から一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 共鳴動作
- B 共同注意
- C 社会的参照
- D 内的ワーキングモデル
- E 選好注視法

【Ⅱ群】

- ア 子どもは未知な状況におかれたとき、信頼できる他者の態度や表情からその人の感情を読み取り、自分の行動がその状況において適切か不適切かという判断を行う。
- イ 子どもと大人が向かい合っている状態で、大人が大きく口を開け閉めしたり、舌を出したり戻したりすると、子どもがその動きと同様な動きをする。自己と他者の区別が明確でない時期に、他者の影響を受けやすいために生じる行動である。
- ウ 外界に興味を示し、探索行動をとるようになる子どもにとって、養育者は「安全基地」のような存在であり、子どもは困ったときに養育者がいつでも助けてくれるというイメージを心の中に持つようになる。
- エ 2枚の異なる図版を同時に提示し、乳児がどちらを長く見るか判定する。この方法で調べた実験から、乳児は単純な色だけの図版よりも複雑な図版、その中でも人の顔に近い図版をより好む傾向が示された。

(記述がないもの)

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

問7 次の【Ⅰ群】の新生児反射と【Ⅱ群】の説明を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A バビンスキー反射
- B 吸啜反射
- C 把握反射
- D モロー反射

【Ⅱ群】

- ア 口に入れたものを吸う
- イ 手のひらに触れたものを強く握る
- ウ 物音などに反応して、手足を広げて抱きつくような体勢をとる
- エ 足の裏に刺激を与えると指を開いてそり返す

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | ウ | エ | ア |
| 2 | ウ | ア | イ | エ |
| 3 | ウ | エ | ア | イ |
| 4 | エ | ア | イ | ウ |
| 5 | エ | イ | ア | ウ |

問8 次の文は、学童期から青年期の仲間関係に関する記述である。(A)～(C)
にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

仲間関係は年齢によって発達していく。学童期の中・高学年では、仲間同士で自分たち
でつくったルールで同じ遊びをするようになる。こうした外面的な同一行動による一体感
を特徴とする関係は(A)と言われる。中学生頃には、内面的な互いの類似性の確認
による一体感を特徴とする関係である(B)が多くなる。高校生になると内面的にも
外面的にも互いに自立した個人としての違いを認め合う共存状態である(C)が中心
となる。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	ギャング・グループ	ピアグループ	チャムグループ
2	ギャング・グループ	チャムグループ	ピアグループ
3	チャムグループ	ギャング・グループ	ピアグループ
4	ピアグループ	チャムグループ	ギャング・グループ
5	ピアグループ	ギャング・グループ	チャムグループ

問9 次の文は、青年期の発達に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A エリクソン (Erikson, E. H.) によると青年期の発達課題は「アイデンティティの確立」であるが、アイデンティティは一朝一夕に確立できるものではない。
- B 周囲の大人に反発する気持ちが強くなり、この時期は「第一次反抗期」といわれる。
- C 心理的に葛藤を抱きやすい時期であり、理想とする自己イメージと現実の自分とのギャップに悩むことがある。
- D 親から、情緒的に離脱していく過程は、心理的離乳と呼ばれるが、これは青年が児童期までの、依存対象を捨て去ることを意味する。そのため、青年は新たな依存対象としての、友人を求めることがある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問10 次の文は、成人期・老年期の発達に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 成人期は青年期に比べ心理的に安定した時期であるため、成人期にはアイデンティティの再構築は行われぬ。
- B 子どもを育ててきた人が、子どもが巣立った後に心にぽっかり穴が開いたように生きがいを喪失することがある。これを「空の巣症候群」という。
- C 流動性知能は高齢になっても高いまま維持される。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × |

問 11 次の文は、子どもの発達状況を把握するためのアセスメントに関する記述である。
適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 知的能力だけでなく、情緒や感情面、対人的なかかわりのもち方、子どもを取り巻く環境要因など、多面的な観点から総合的に子どもを理解しようとするのが大切である。
- B 保育士は子どもに積極的に心理検査を行い、その結果から子どもの障害を診断し、保護者にコンサルテーションを行うことが求められている。
- C 子どもに用いられる心理検査としては、新版K式発達検査 2001、田中ビネー知能検査、ウェクスラー式知能検査などがある。
- D 日常生活において、忘れ物が多い子どもが心理検査を受けた結果、耳から聞いた情報を記憶することが苦手であり、それにより忘れ物の多さに繋がっているということが推測されることがある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	○	×	×	○
5	×	×	×	×

問 12 次の文は、パーテン(Parten, M.B.)による遊びの分類における「連合遊び」に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A リーダー的な役割を取る 1～2 名が遊びを指揮していることが多い。
- B 子ども同士でやりとりや会話をしながら遊びの場を共有しているが、似たような行動を一緒にしている状態である。
- C 厳密な役割分担はされておらず、互いの遊びのイメージがずれたままで、遊びが進行していることがある。
- D 遊びの共通の目的やイメージのために子ども同士で話し合い、それぞれの分担に基づいて遊んでいる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 13 次の文は、子どもが数量や図形に親しむことをねらいとした保育の一場面である。
不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 ブロックを組み合わせて、家や乗り物を作る。
- 2 土の団子づくりに適した土の湿り気の具合を考える。
- 3 グループの人数を確認してからおやつを配る。
- 4 積み木の高さ比べをする。
- 5 葉っぱを集めて形や大きさを比べる。

問 14 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の4「保育の実施に関して留意すべき事項」の一部である。(A) ~ (D) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や (A) の基盤の育成につながることに配慮し、(B) にふさわしい生活を通じて、(C) な思考や (D) な生活態度などの基礎を培うようにすること。

【語群】

ア 学習	イ 教育	ウ 幼児期	エ 学童期	オ 創造的
カ 独創的	キ 主体的	ク 意欲的		

(組み合わせ)

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 1 | ア | ウ | オ | キ |
| 2 | ア | ウ | カ | キ |
| 3 | ア | エ | オ | ク |
| 4 | イ | ウ | カ | ク |
| 5 | イ | エ | オ | キ |

問 15 次の文は、就学に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 年長児が小学校を見学したり、保育士・幼稚園教諭と小学校教諭が相互に保育参観・授業参観をしたりするなどの幼稚園・保育所・小学校の連携が行われている。
- B 保育所で培われた探究心や知的好奇心が基礎となって、小学校の教科的学びへとつながっていく。したがって、就学前に文字や数に関心をもたせる必要はない。
- C 保育所に入所している子どもの就学に際し、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付される。
- D いわゆる小1プロブレムとは、小学校入学を機に子どもを夜間まで預けることができなくなったワーキングマザーが、仕事の勤務形態を変えたり辞めたりしなくてはならないことを指す。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 16 次の文は、現代社会における課題に対応するために保育所や保育士に期待されることについての記述である。保育所や保育士のかかわりとして適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保護者の就労状況により、生活リズムが崩れている子どももいる。保育士は子どもの健康に留意し、基本的な生活習慣を確立できるよう援助していく。
- B 核家族化が進んでいることから、保育所は子どもが集団生活できる場所として重要な役割がある。保育士は子ども同士のトラブルに敏感になりすぎてすぐに仲裁に入ることは慎み、子どもが規範を学び社会性を育む経験の場となるように環境を構成する。
- C 保護者支援においては、保護者の養育力の向上のために適切に支援する必要がある。父親へのサポート、ひとり親家庭へのサポート、病児をもつ保護者へのサポートなど、各家庭のニーズに応じたきめ細やかな子育て支援が求められる。
- D SNSなどの普及により、顔を見て、直接コミュニケーションを取る機会が減っている。保育士は、子どもが安心できる環境のなかで、人と人との生のコミュニケーションを体得できるように援助を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	×	×

問 17 次の文は、発達障害に関する記述である。(A) ~ (E) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

「発達障害者支援法」では、(A 知的障害)と(B 双極性障害)は発達障害として定められている。

『DSM-5 (精神疾患の診断・統計マニュアル第5版)』では、注意欠如・多動性障害の診断基準として挙げられている症状は(C 不注意)、(D 多動・衝動性)、(E 強迫性)である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	×	○	○	○
3	×	○	×	○	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	×

問 18 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

G君（1歳3か月、男児）の保護者から次のような相談を受けました。「Gの言葉が遅いのではないかと気になっています。同じ誕生月のHちゃん（1歳3か月、女児）はお友だちの名前も言えますが、Gはまだママ、パパを言うのがやっとで、先生の名前も出てきません。どこか専門の病院に相談したほうがよいでしょうか。」

【設問】

担当保育士が相談に応じる際に、G君のことばの遅れについて確認する項目として最も不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 G君の後ろから大人が話しかけた時に反応するかどうかなど、聞こえを確認する。
- 2 G君がすでに発している「パパ」「ママ」という言葉がはっきり言えるかどうかなど、発音（構音）を確認する。
- 3 G君と視線が合うかどうかを確認する。
- 4 大人が言うことをG君が理解しているかどうかを確認する。
- 5 G君が指さしをしたり、人に伝えようとする意欲があるかどうかを確認する。

問 19 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

4歳の男児。1歳頃より人の目を見ない、指さしをしない、他の子どもに関心がない、などの様子が見られた。保育所でも一人遊びが多く集団行動が苦手な傾向がある。自分の話したいことばかり話し、会話がつながりにくい。自分の好きなことや興味のあることには熱中する一方で、初めてのことや決まっていたことの変更は苦手で、なじむのに時間がかかる。楽器の演奏をするときには耳をふさいでうずくまることがある。

【設問】

この子どもで最も疑われる精神医学的問題について、保育士の配慮として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 聴覚過敏が見られる場合は、その刺激に早く慣れるように個別訓練を行う。
- B好きなことに熱中してばかりいると他の子どもとの交流が図れないので、家庭と連携し好きなことを禁止する方針を立てる。
- C 場を読む力をつけるために、よくない行動が見られた場合は叱るのみとして、理由は子ども自身に考えさせる。
- D 写真や絵を添えて説明を行うと言語理解力が伸びなくなるため、言葉でのみ説明する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	×	×	○	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	×

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

Iちゃん（3歳、女兒）の母親は、3か月前に第二子である女兒を出産しました。出産後の回復が思わしくなく、精神的にも落ち込んでいる様子です。先日、Iちゃんの迎えに来たときに疲れたような表情だったので担当保育士が「睡眠はとれていますか。」と聞くと、「私のような母親で、2人に申し訳ない」と泣き崩れてしまいました。

【設問】

このあとの担当保育士の対応として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所に心身の健康に詳しい看護師がいるので、看護師と母親の連携を図る。
- B 母親は産褥期うつ病の可能性があるので、医療機関の受診を勧める。
- C Iちゃんの日中の様子をよく観察する。
- D 母親はマタニティー・ブルーで一過性のものと思われるので、そのまま様子を見る。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×